

間もなく、日本福音ルーテル宮崎教会に横田宗隆さんの技と愛がぎっしり詰まったオルガンが出来上がります。正式名は「宗教改革500年記念オルガン」略してMRO。彼女は恐らく日本で初めてとなるZ. ヒルデブラントの製作様式で作られており、更に「18世紀前半の中部ドイツの小教会用のプレナム」を持ち、それが2つの手鍵盤に自由に振り分けられるように作られた珍しい機構を持っています。

これまでの主のみ心は、1991年北ドイツ・ブレーメン郊外の教会で恩師フォーゲル氏に横田さんを紹介された時から始まり、米国カリフォルニア州チコでの横田オルガンとの初めての出会い、更に彼のオルガンを求めてスウェーデン、韓国、ニューヨーク、オランダ、そして今、宮崎へ。

2017年から教会堂は作業場と化し、日々小さな仕事を手伝っている私は過去4回のオルガン解体と組立に直接関わってきたにも関わらず、今回は全てが新鮮で驚きの連続です。美しい母なるオルガンは地味な作業の繰り返しの私達を優しく癒してくれています。

日本福音ルーテル宮崎教会  
音楽監督・オルガニスト  
松波 久美子